



# 徳成寺

## 寺ともかわら片版

### 第155号 2019年11月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

先日、3年ぶりに東本願寺に宿泊参拝して参りました。

担当の教導先生と補導さんが様々な説明や話し合いの場を

持って下さいました。そこで副住職が「人々に寄り添う難しさ」を

感ずると申しておりました。それを受けて教導先生も「(お寺の使命は)

人々に寄り添うことに尽きる。ガンバレ」と背中を押して下さいました。

「人々に寄り添う」という言葉は簡単でも、実行する難しさを私も感じます。

親鸞は人々を「御同朋・御同行とこそかかずいた」と伝えられています。

つまり、どんな人も共に歩むお仲間であると。その初心に立ち帰って、

当寺の親鸞聖人報恩講と各ご家庭でのお講勤めを勤めて参りたいと思います。

一発行責任者  
住職  
大山健児  
坊守  
大山比み



## 大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっています、長男です。

今月は奉仕団ということで京都に行きました。奉仕団に参加していただいた皆様、ありがとうございました。天候が不安定で大変でしたが、無事にみなさんと一緒に高松に帰ることができてホッと一安心しています。奉仕団の補導をされていた方が、仏様を祀っている阿弥陀堂を紹介した際に「お家の仏壇の仏さん、お寺の仏さん、本山の仏さん、同じ仏さんだけど、お参りする時の気持ちは何か違うような気がしませんか」と我々に問いかけられました。スケールの大きなモノを見ると小さいものは粗末であると錯覚しがちですが、それは私達が勝手に順序や分別を行っているだけであって有り難さは変わらないという事をお話されていました。今月末からお講勤めでまたお邪魔させて頂く事があると思いますが、この話を大事にしてしっかりとお勤めしていきたいと思っています。よろしくお祈りします。写真は今回の清掃奉仕場所、大門から阿弥陀堂です。奥側の建物に阿弥陀仏が祀られています。1泊2日お世話になりました。

